

2013 伊野地区自治協会の活動

持続可能な伊野をつくるための重点対策

1 農業と食文化をつなげた地域づくり—栽培・食べる・売る・笑って長生き—

- (1) 伊野農業懇話会の支援
 - ①適時、農業懇話会を開催し、伊野の農業の課題と解決策について検討する。出雲市が5月に伊野地区で実施した農業アンケートの結果をもとに、対策を検討する。
 - ②研修会や先進地視察を支援する。
 - ③農業の担い手育成についての検討を行う。
- (2) 中山間地域の農業対策
 - ①「中山間地域等直接支払制度」を活用して上伊野農業再生プロジェクトを立ちあげる。
 - ②下伊野地域については「伊野農地保全の会」の活動を支援する。
- (3) 産直市立ち上げを検討する
 - ①伊野の農業の発展につながる産直市開催(コミュニティ・ビジネス)について検討する。
- (4) 豊かな食文化を広め、健康で長寿の里をつくる
 - ①味噌づくり、えが餅づくりなど伝統食文化を継承するとともに手作りの健康食について学ぶ機会を設ける。
 - ②堆肥づくりや野菜づくり教室など、農業を楽しむコミセン事業を発展させる。

2 少子化対策—子どもを育てるなら伊野で—

- (1) 伊野小学校再編(統廃合)についての検討
 - ①伊野小学校再編検討委員会等で、伊野小学校再編の可否と子育ての条件整備について検討する。
 - ②検討委員会の中間報告書を年度末にまとめる。
- (2) 伊野バージョン(島根大学教育学部学生の活動)支援
 - ①秘密基地づくり(6月19日)、田んぼ運動会(8月17または18日)、島大大学祭への子ども参加(10月12日)などを支援する。
 - ②県教委の「体力向上支援事業」補助金(20万円)を活用して、コミセン、伊野バージョン等の協力により、子どもたちが伊野の自然を舞台に遊び、遊びを通して運動能力を高める活動を展開する。
- (3) 子育て支援事業
 - ①コミセン事業として行っている子育て支援事業(わくわく広場、書道教室、スキー教室等)をいっそう充実させる。
 - ②体協事業として行っている子育て支援事業(陸上教室、サッカークラブ、バレーボールクラブ等)や社協事業として行っている子育て支援事業(しめ縄づくり等)をいっそう充

実させる。

- ③伊野小学校の教育活動に対する支援(読み聞かせボランティア、米づくり等)を継続・発展させるとともに、伊野地区諸団体との連携いっそう充実させる。
- (4) 小中学生の学力向上支援(サマースクール、ウインタースクール)
 - ①昨年度開催したサマースクールを今年度も開催する。冬季に保護者の自主的企画として行われた中3の入試対策についてもウインター・スクールとして位置づけ、指導者の紹介等を行う。
 - ②両企画の運営については保護者が主体となって行えるように支援する。
- (5) 伊野児童館(ひだまりの家)の今後の役割と活動について検討
伊野児童館運営委員会を中心に児童館運営の財政・役割・活用について検討する。

3 安心・安全の地域づくりー助け合いの地域づくりー

- (1) 原子力災害に備えるインフラ整備
 - ①伊野幹線や斐川一畑大社線等避難道路の拡幅整備について市・県に強く要求する。
 - ②災害対策本部となるコミセンと出雲市及び出雲市教育委員会・伊野小学校(保護者)との連絡網の確立
- (2) 防災体制の見直し
 - ①災害対策本部会議を開催し、災害対策について検討する。
 - ②1次避難所の見直し
 - ③防災訓練の実施(災害対策本部中心)
- (3) 生活環境道路改良事業・生活環境下水路改良事業(H26~H28)の要望書をまとめ、市に提出する。

4 にぎわいのふる里づくりー出会いがいっぱいある交流の里ー

- (1) 伊野地区運動会や文化祭、夏祭り(8月13日)等を成功させる。
- (2) ほたるの里づくりの推進
- (3) ソーシャルラーニング(島根大学等山陰5大学連携事業)の受け入れ(8月23~25日)
- (4) 他国・他地域との交流
 - ①他地域交流(伊野サッカークラブの愛媛県久万高原町との交流等)
 - ②国際交流(講演会や料理教室の開催)
- (5) 伊野の魅力(自然・人・行事等)について積極的に情報を発信する。

5 定住対策ー伊野で暮らしたい人をつくろうー

- (1) 空き家調査を行い、空き家の活用について検討を開始する。
- (2) 住民要求調査を行い、年齢別・世代別の要求を把握して、持続可能な伊野をつくるための課題や方策を明らかにする。
- (3) Iターン・Uターン者を迎え入れる方策を検討する。